

令和6年度 第6回 理事会議事録

日時：令和6年10月9日（水） 19：00～21：00

場所：医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 5階会議室

[出席者]

理事：末吉恒一郎、立津統、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、金城良和、當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、高安信吾、安村大拙、玉城すみれ、武富新太郎、平良雄司、下里真司、上地誠之
監事：千知岩伸匡、南部路治

第25回沖縄県理学療法学会：島袋公史実行委員長、島袋みちる副実行委員長

書記：城間亮太

[審議事項]

- ・第1号議案 入会の承認に関する件…【資料ファイル1、1-1】
- ・第2号議案 第15回沖縄県糖尿病週間学術講演会共催依頼に関する件…【資料ファイル2、2-1】
- ・第3号議案 第25回沖縄県理学療法学会イベント保険契約に関する件…【資料ファイル3、3-1】
- ・第4号議案 産業理学療法研修会に関する件…【資料ファイル4】

議決に加わることの出来る理事数 15名

出席者理事数 15名（第1号議案から第3号議案：13名、第4号議案：15名）

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事末吉恒一郎が議長となって、本理事会は集合とWeb会議システムを併用して開催する旨宣言した。

議長末吉恒一郎は、参加理事立津統、金城良和、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、比嘉俊文、當間智史、宮里由乃、玉城すみれ、武富新太郎、下里真司、平良雄司、安村大拙、高安信吾、監事千知岩伸匡、南部路治に対し、本理事会に出席する旨を説明し、Web会議システムにより、出席者の映像と音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている事が確認されて、議案の審議に入った。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

4. 地域局

※月次報告書

5. 社会職能局

※月次活動報告

6. 教育学術局

※月次活動報告

7. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 6 年 10 月 8 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1、資料ファイル 1-1】
議案内容及び提出理由	<p>【入会申請者】計 5 件 承認：5 件、 否認：0 件、保留：0 件 令和 6 年度 4 月 1 日～9 月 10 日：89 名（昨年度同時期 85 名）</p> <p>【会員動向】令和 6 年 9 月 30 日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在会会員数：1,516 名、施設所属会員数：1,413 名、自宅会員数：103 名、休会：415 名 ・会員所属施設数：341 施設 <p>【期間会員動向】令和 6 年 9 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日 ※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：8 名（県内：7 名 転入：0 名 転出：1 名） （うち再申請：0 名 否認：0 名）</p> <p>休会：3 名（前月比：1 名） 退会：1 名（前月比：1 名） 復会：0 名（前月比：0 名）</p>
審議内容	<p>1 入会の承認について</p> <p>特に質疑応答はなし。</p>
審議結果	<p>全員一致で可決</p> <p>可：13 名</p> <p>否：0 名</p>
	<p>担当局：事務局</p> <p>担当部：総務部</p>
備考	

第 2 号議案 第 15 回沖縄県糖尿病週間学術講演会 共催依頼に関する件

提出日：令和 6 年 9 月 18 日	提出者：末吉聖子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	第 15 回沖縄県糖尿病週間学術講演会 共催依頼に関する件 【資料ファイル 2、2-1】
議案内容及び提出理由	<p>沖縄 CDE 会は、糖尿病セルフケア支援のエキスパートを育成目的に活動を行う団体で、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会を開催。</p> <p>認定更新に必要な研修単位のうち、＜第 1 群＞自己の医療職研修単位（職種別）については、<u>当協会主催・共催の研修会で 2 単位取得が可能。</u>したがって、当協会会員の「日本糖尿病療養指導士」においては、更新対象・単位取得に繋がる事を含め、令和 5 年度に年 1～3 回開催の講演会共催に関して、「承諾」の審議を頂いた経緯あり。</p> <p>沖縄 CDE 会事務局へお電話確認にて、これまでの講習会等への PT 参加者ありとの事。個人情報保護の為、名前の公表はできないが、令和 6 年度より共催団体へ議事録を提供していただける運びとなり、職種間の参加状況に関する情報収集に繋がると考える。</p> <p>今回、令和 6 年 12 月 6 日（金）開催「第 15 回沖縄県糖尿病週間学術講演会」への共催依頼文書におきまして、ご審議をお願い致します。</p>
審議内容	<p>1 共催諾否の可否について</p> <p>特に質疑応答はなし。</p>
審議結果	<p>全員一致で可決</p> <p>可：13 名</p> <p>否：0 名</p>
	<p>担当局：事務局</p> <p>担当部：総務部</p>
備考	<p>・共催諾否書の返信期限は、令和 6 年 9 月 27 日（金）まで。</p> <p>ご担当者様へお電話にて、当会第 6 回理事会後の回答希望をお伝えし、内諾頂いた。</p>

第 3 号議案 第 25 回沖縄県理学療法学術大会イベント保険契約に関する件

提出日：令和 6 年 10 月 4 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：

議案主題	第 25 回沖縄県理学療法学会大会イベント保険契約に関する件 【資料ファイル 3、3-1】	
議案内容及び提出理由	<p>学術大会においても、イベント保険の加入は必要と考えて、保険の区分については、対人（傷害、身体障害など）・対物（器物損壊、損害賠償など）のどちらも必要になると思われます。</p> <p>そこで、下記の 3 社から検討しました。</p> <p>1. 株式会社グッド保険（14,620 円） ※事前の名簿提出は不要で、準備期間（11 月 1 日）も含めた金額となっています。対物の損害の補償も入っている様です。</p> <p>2. あいおいニッセイ同和損保（補償内容により変動：1 万円～4 万円） ※事前の名簿提出は不要ですが、傷害保険となるため対物等には適用しません。</p> <p>3. JA 共済（見積無） ※事前の名簿提出が必要で、保険内容は対人のみで、対物は対象外となるようです。名簿に記載が無い方（当日参加）は対象にならない。そもそも当協会（公益社団法人）として加入できるかは審査が必要との事です。</p>	
審議内容	<p>1. イベント保険契約の可否について</p> <p>2. 株式会社グッド保険会社との契約の可否について</p>	
審議結果	<p>1. イベント保険契約の可否について 全員一致で可決 可：13 名 否：0 名</p> <p>2. 株式会社グッド保険会社との契約の可否について 全員一致で可決 可：13 名 否：0 名</p>	
	担当局：事務局	担当部：
備考	<p>株式会社グッド保険ですが、参加者がケガをした場合に 1 名 50 万を限度に治療費実費払いをします（熱中症も対象です） 主催者に運営上の過失責任がある事故は対人・対物賠償でお支払いいたします。 お手続き完了後、保険証券が届くまで 3 週間程度かかっている状況です。</p>	

第5号議案 産業理学療法委員会研修会に関する件

<p>提出日：令和6年10月9日</p>	<p>提出者：立津 統</p>
<p>担当局：産業理学療法委員会</p>	<p>担当部：</p>
<p>議案主題</p>	<p>産業理学療法研修会に関する件…【資料ファイル4】</p>
<p>議案内容及び提出理由</p>	<p>本年度、産業理学療法委員会を立ち上げ、沖縄県産業支援センターからの依頼を受けた。産業支援センターに登録した3名の委員で、上半期(9月末)において約16件の企業への理学療法士派遣を行った。</p> <p>今後も増加する事を勘案すると、現在の委員では対応が出来なくなってしまう可能性があり、早急に派遣に対応できる委員を増やしていきたいと考える。</p> <p>つきましては、本年度予算において、中労災の研修参加において、希望者がいなかったことから、本予算を研修会に充てたいと思います。</p> <p>本事業は、定款第4条、(1)理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業、ならびに(2)理学療法士の職業倫理の高揚を図り、学術及び技術の向上に関する事業に該当。</p> <p>研修会案</p> <p>①産業理学療法の企業派遣報告会(仮)</p> <p>講師；宮里岳大(健康美にこだわった空手サロン RIN STYLE)</p> <p>・玉城和弥(株式会社ハウゴ)・喜瀬真雄(琉生病院)</p> <p>期日；年度内に実施調整予定</p> <p>②産業理学療法のための中労災企画研修会(仮)</p> <p>講師；座波信司(おもと会本部)</p> <p>年度内に実施調整予定</p>
<p>審議内容</p>	<p>1 研修会開催の可否</p> <p>2 講師案についての可否</p> <p>【質疑応答】</p> <p><南部監事>講師の方々に非会員の方はいらっしゃいますでしょうか？</p> <p><立津副会長>全員会員で講師としては問題ないと思います。研修会では登録理学療法士更新ポイントや認定専門理学療法士更新点数が付与できるようにしていきたいと思っています。</p> <p><安村理事>趣旨については全く異論ございません。あの、また産業理学療法とかにつきましては、守備範囲もだいぶ広いと思うので勤務して我々内部障害やってる人間としては、呼吸器疾患・循環器疾患の予防のところも県内で多くあり、貢献できる理学療法士もいると思いますので、挨拶に伺った際にその点もプッシュして頂けたらと思います。</p>

	<p><立津副会長>ありがとうございます。今年度は勤労者の腰痛予防・転倒予防というところに主眼が置かれています。ただ、呼吸器疾患や循環器疾患などに関してもアピールできるところはしていきたいと思えます。</p> <p><上地理事>一番初めに挨拶に行った際に、年間を通して依頼があるのは数件程度かと思っていましたが、今年度16企業より依頼があったという事は、その要因などがありますでしょうか？</p> <p><立津副会長>一番大きいのは、労働災害に対する考えや健康志向の部分ですかね。あるいは高齢者・勤労者の一番多いのは転倒ですよ。そういったところで、第14次労働災害防止計画の中に理学療法士が明記されたことや、エイジフレンドリー補助金（<u>高齢者を含む労働者が安心して安全に働くことができるよう、中小企業事業者による高年齢労働者の労働災害防止対策、労働者の転倒や腰痛を予防するための専門家による運動指導等、コラボヘルス等の労働者の健康保持増進のための取組に対して補助を行う</u>）があつて、そこに目を向けたというのも大きいかと思いますが、補助金の方で上手く行っているという話はまだ聞けてないですね。そういうところで、かなり方向性としては数が増えたのかなという印象はあります。後は、まず試しに呼んでみようかという感じで依頼があつたようで、内容等もかなり好評だったようです。</p>	
<p>審議結果</p>	<p>1. 研修会開催の可否について 全員一致で可決 可：15名 否：0名</p> <p>2. 講師案についての可否について 全員一致で可決 可：15名 否：0名</p>	
	<p>担当局：産業理学療法委員会</p>	<p>担当部：</p>
<p>備考</p>		

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会長 末吉 恒一郎

監事 千知岩 伸匡

監事 南部 路治